坂井市内の県道で試験施工

11111 産学官連携

リコンク フライアッシュ

和之金沢大学教授) 委員会(委員長・鳥居 のフライアッシュ検討 ートに混和することで 北陸3県産学官連携 同材をコンクリ

験施工を行った。 町大牧の県道沿いで試 証しようと坂井市春江 向上する特性を現場検 より施工性や耐久性が 昨年の越前市北町に

2カ所目で、 今回は県道か 続く福井県内 らほ場への昇

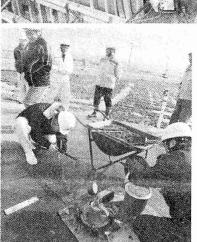
井宇部生コンクリート 込み、もう一方には福 性の把握も実施工レベ のほか熱特性や収縮特 降路で試された。 ンクリートの性状試験 ルで実施。昇降路の一 万には従来のコンクリ --ト約8立方がを流し 生二

芦原工場からの 経時変化を現地検査

また現在市場で幅

ンクリート工業組合お す。それをコンクリー した微粉末の灰を指 排出される石炭灰のう で石炭を燃やした後に からは北陸3県の生コ 業大学、富山県立大学、 係で金沢大学、金沢工 ど供試体により測定の ュとは石炭火力発電所 参画して11年1月に発 石川県、福井県が行政 国土交通省、 よび北陸電力。さらに 福井大学。また産業界 したい考え。 重な基礎データを収集 間ほど養生し、 て比較検討。 この委員会は大学関 実用化へ向けた貴 電気集塵器で採取 フライアッシ 富山県、 、強度な とが確認されている。 通セメント・高炉セメ 広く使用されている普 ノトを用いたコンクリ

--ト約9立方ぶを施し イアッシュ」 今後4週 コンクリ リートプラントで施工 ライアッシュを製造可 のフライアッシュより 級灰)の品質は、 火力発電所で産出され 的な検討作業を行う。 使用されるよう、具体 面・品質面に優れたフ 高品質で実際のコンク るフライアッシュ(分 版)によると七尾大田 の報告書(富山・石川 という特長を生かし、 工性や耐久性が高まる トに混和することで施 北陸地方における建設 上事において標準的に 同委12年3月23日付 従来



トよりも品質面では

もしくは優る